

# 平成30年度中学校国語科の指導の重点

## 【本県の課題】

- ・目的に応じて必要な情報を読み取ったり、文章の要旨を捉えたりすること
- ・自分の立場や伝えたい事柄、根拠を明確にして、伝わるように書くこと
- ・文章の構成や展開、表現の仕方を捉え、自分の考えをもつこと
- ・語句の意味や使い方(漢字、品詞の類別、文節の関係、辞書、手紙等)

## 【指導の重点】

- ・学習指導要領に示された指導事項を踏まえた言語活動の設定
- ・必要な情報を得て、判断の根拠や理由を示しながら考えをまとめる指導
- ・書き手の目的や意図を考えたり、表現の効果を考えたりする指導
- ・漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる指導

## 【授業でこれから大切にしてほしいこと】

「中学校学習指導要領解説」(H29年6月)参照

### 見通し、まとめ・振り返り

具体的には「国語指導の手引き」平成28年度「熊本県学力調査」結果(概要)を参照

単元などのまとまりを見通して授業改善を行う  
学習内容をまとめ、学習を振り返る活動を行う

### 言語活動の工夫

具体的には「国語指導の手引き」を参照

目的や必要に応じて資料を読み、自分の考えを書いたり話したりする活動を行う

### 語彙指導の充実

平成28・29年度「熊本県学力調査」結果(概要)を参照

自分の語彙を量と質の両面から充実する  
各領域の授業や実際の言語活動で活用する

### 読書指導の充実

「中学校学習指導要領解説」(H29年6月)総則編、国語編を参照

国語科の学習が、読書に結びつくようにする  
学校図書館を目的を持って計画的に活用する

- ・各領域の授業で、読書の意義や効用を考え、実感させる
- ・授業で図書館を利用し、様々な種類の本や資料から情報を得て、考えたことを報告・説明・提案等させたりする
- ・学校総体で読書に誘う(一斉読書、読書記録、図書紹介、掲示等)

## 【具体的な指導例】

出典：平成28年度授業アイデア例 中学校1年「書くこと」  
(国立教育政策研究所教育課程研究センター)

**主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善**  
～伝えたい事柄について、自分の考えを根拠を明確にして書く単元～

- 1 図書館に置いてほしい本について、担当に要望する文章を書く。
- 2 要望が効果的に伝わる文章になっているか検討し、交流する。

#### 【最初の文章】

先日、人工知能のニュースを見てもっと詳しく知りたいと思い、学校図書館に行きました。しかし、AIについて詳しく取り上げている本がなく、図書館に科学雑誌があったらいいと思いました。月刊の雑誌には新しい話題が取り上げられているし、科学雑誌を置いてほしいと思っている人は多いです。科学雑誌がそろっていると、理科や技術・家庭科の学習などで疑問に思ったことを調べる際にも役立ちます。

#### 【指導のポイント】

- ・要望と根拠を明確にして検討する。
  - ・付箋に気付きを書いて、班で交流する。
- 【手立ての例】
- ・線：言葉に着目し要望は四角、根拠に下線を引く
  - ・付箋：赤(要望)青(根拠)黄(構成の仕方)

- 3 要望が効果的に伝わる文章を書くための観点を話し合う。

【指導のポイント】生徒の意見を基にまとめた観点を板書し、共有する。

#### 【まとめた観点の例】

- ①自分の考えは、確かな事実や事柄(根拠)に基づいているか。
- ②根拠の内容は、客観的な事実、具体例、専門的な知見の引用等か。
- ③読み手が、考えや根拠がどの部分に分かる構成か。

- 4 交流や観点を基に、自分の文章を見直し、完成する。

【指導のポイント】表現し直しながら、伝わる文章について考えを深める。

【見直した文章】図書館に科学雑誌を置くことを希望します。科学雑誌を置いてほしいと思っている人は多く、学級でアンケートをとったところ、約70%の人が…。

- 5 最初の文章と見直した文章を比較し、成果や課題等を振り返る。

【振り返りの例】読み手に要望が分かりやすいように、文章構成を入れ替え、文末を「希望します」にした。根拠には、「多い」の客観的な事実としてアンケート結果を加える工夫をした。課題は、複数の根拠を考えることが難しく…。

単元の流れ